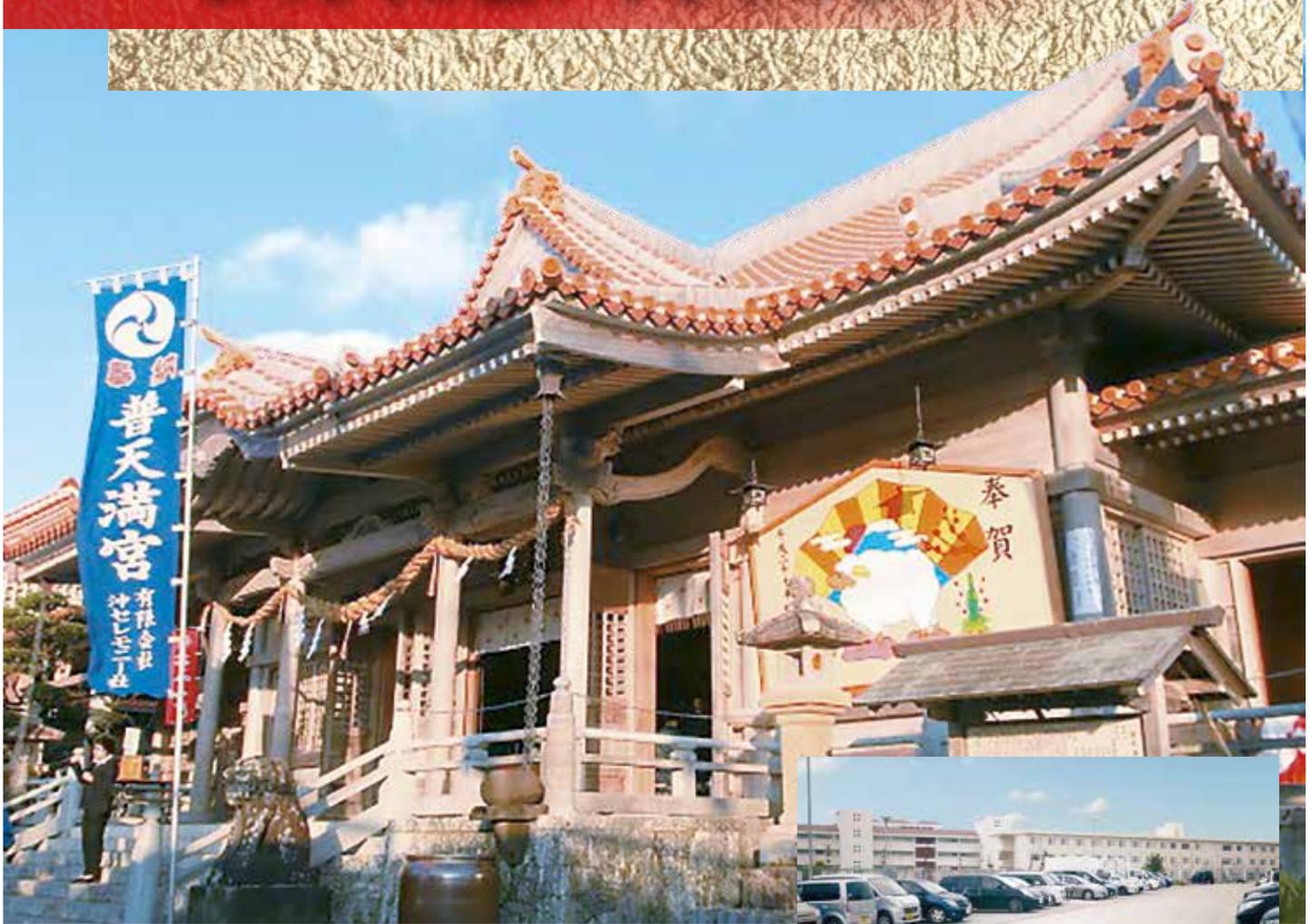




本年も沖縄防衛局を
 よろしくお願い申し上げます



新年の普天満宮（宜野湾市）



普天満宮への初詣参拝者の臨時駐車場として
 キャンプ瑞慶覧（海軍病院地区）の一部土地を開放

目次

CONTENTS

第 22 回防衛セミナーの開催 2
 航空自衛隊那覇基地 エアフェスタ 2014 開催 3
 読谷村大型定置網が完成 4
 社会福祉法人 輝（かがやき）福祉会 ゆうわ保育園が完成 5
 キャンプ・ハンセン親睦ソフトボール大会に参加 6

沖縄県在日米軍事故対応に関する合同協議会及び
 在沖縄日米危機管理会議の開催 6
 第 30 回 NAHA マラソンに出場 7
 米軍基地での勤務を希望される方へ 7
 2014 嘉手納スペシャルオリンピックス大会 8

第22回防衛セミナーの開催

平成 26 年 12 月 8 日、那覇市の沖縄産業支援センターにおいて、第 22 回防衛セミナーを開催しました。今回のテーマは、近年、航空自衛隊による中国機に対する緊急発進の回数が急激に増加していること、また、沖縄における不発弾処理回数が格段に多いことから、『空の守りと地域支援』をテーマとして、第 1 部では、航空自衛隊南西航空混成団司令部 防衛部長 鮫島建一 1 等空佐に「南西域の空における防衛」について、第 2 部では、陸上自衛隊第 15 旅団 第 101 不発弾処理隊長 錦織康二 2 等陸佐に「不発弾処理活動」について講演していただきました。

聴講された方々からは、「空の防衛の厳しさが理解できた」「スクランブルに対応するため各隊員の尽力に感動した」「不発弾処理をたった 20 名で行っているのにびっくりした」「不発弾処理隊が創隊以来 40 年間無事故なことに驚いた」などのご感想をいただきました。

なお、講演内容につきましては、沖縄防衛局ホームページに掲載しますのでご覧下さい。

当局としては、防衛セミナーが防衛行政に対する国民の皆様のご理解の一助となれば幸いです。



講演中の鮫島 1 等空佐



講演中の錦織 2 等陸佐



質疑応答風景



主催者挨拶をする井上局長

航空自衛隊那覇基地 エアフェスタ2014開催

平成 26 年 12 月 14 日、航空自衛隊那覇基地において、「エアフェスタ 2014」が開催され、家族連れや県内外の航空ファンら約 1 万 8 千人が訪れ、大盛況となりました。

同フェスタでは、F-15、T-4 など那覇基地所在の第 83 航空隊の所属機や航空自衛隊のアクロバットチーム「ブルーインパルス」による展示飛行が行われ、訪れた皆さんから盛んな拍手と歓声があがっていました。

また、航空機などの装備品展示では、陸海空の 3 自衛隊の航空機を一挙に撮影することができるためか多くの航空ファンがカメラを構えたほか、F-15 の展示では、本物の戦闘機のコックピットに座れる絶好の機会として、長蛇の列が途切れることはありませんでした。

このほか、南西航空音楽隊やアメリカ軍ビッグバンドのライブ演奏、基地所属隊員によるエイサー演舞や和太鼓も披露され、多くの家族連れが初冬の 1 日を楽しんでいました。



読谷村大型定置網が完成

読谷村において、このほど完成した「大型定置網」の除幕式が平成 26 年 12 月 5 日に挙行政され、読谷村漁業協同組合及び読谷村役場等多くの関係者の方々が出席し完成を祝いました。

本施設は、読谷村漁業協同組合の漁業収入の向上及び漁業者の負担軽減を図り、漁業経営の安定に寄与することを目的として「防衛施設周辺民生安定施設整備事業（総事業費約 2 億 3 千万円、補助額約 1 億 5 千万円）」により購入、設置されたものです。

この定置網の水揚量は同漁協全体の約 7 割を占めるほか、更なる活用として一般の方々や観光客を対象とした体験漁も実施する等、漁業経営の安定のみならず、読谷村の観光産業の発展の一翼を担う立派な施設となっております。

当局としては、本施設を活用することによって、読谷村漁業協同組合並びに読谷村が今後ますます発展されることを願っております。



定置網設置事業看板



井上局長の祝辞



読谷村漁業協同組合の定置網漁



事業主体者の声

読谷村漁業協同組合長の金城肇です。今回、新しい定置網を設置したことで水揚量も順調に伸び、この定置網で水揚された新鮮なお魚を地域の皆様にご提供できることをとても嬉しく思います。また、定置網船を利用した観光漁業『海人体験』や小中学生の職場体験等、今後も幅広く活用できるよう努めてまいります。

社会福祉法人 輝(かがやき)福祉会 ゆうわ保育園が完成

社会福祉法人 輝(かがやき)福祉会「ゆうわ保育園」(宜野湾市野嵩)は、既設園舎の老朽化が著しいことから新園舎の建設が進められ、平成 26 年 9 月に完成し、11 月 29 日に落成式典が挙行されました。

新園舎は、施設の充実はもちろんのこと、旧園舎より多くの子ども達の受け入れが可能な施設となっており、宜野湾市の待機児童の解消、保育環境の向上に貢献する素晴らしい施設となっています。

本施設の建設に当たっては、防衛施設周辺防音事業により、併行防音工事として防音サッシや空気調和設備(エアコン等)の設置に要する費用を補助しています。

当局としては、この施設が未来を担う子ども達の輝く才能を開花させる場となることを願うとともに、今後とも防衛施設周辺にお住まいの皆様方の生活環境の改善のための各種施策の実施に取り組んでまいります。



落成式典では園児たちが太鼓を披露



ゆうわ保育園の外観



防音サッシ



空気調和設備

この度の園舎建替え工事に併せて防音工事を行い、より充実した保育環境になりました。新園舎のコンセプトは、玄関の扉を開けると“なんかホッとする…”という雰囲気を感じてもらうことです。そして、法人の理念である「和の心を大切にし、輝ける人生に貢献する」から、各クラスを2つのチームに分け“和(なごみ)”と“輝(かがやき)”と命名しました。和やかな雰囲気の中で子どもも大人も自分らしく輝けるよう、日々を過ごしていきたいと思えます。これからも子ども達や地域のため、子育て支援に貢献できるよう努力してまいります。



希望の卵



佐喜真祐子園長のひとこと

キャンプ・ハンセン親睦ソフトボール大会に参加



平成 26 年 11 月 1 日、キャンプ・ハンセン内において開催された親睦ソフトボール大会に、当局からも井上局長をはじめ多くの職員が参加しました。同大会には、金武町役場、金武町商工会、宜野座村商工会、恩納村商工会及び石川警察署の各機関の皆様方やキャンプ・ハンセンの隊員も参加し、ソフトボールを通じて交流を深めました。



同大会は今回で 5 回目を数え、当局は 2 回目から参加しており、大会を運営している金武町商工会並びに関係者の皆様方へ重ねて御礼申し上げます。

今後とも同大会により、キャンプ・ハンセンと地域との親睦が深まることを祈念しています。

沖縄県在日米軍事故対応に関する合同協議会及び在沖縄日米危機管理会議の開催

米軍航空機関係事故が発生した際の対応について関係機関で協議するため、平成 26 年 12 月 5 日に、第 21 回沖縄県在日米軍事故対応に関する合同協議会が、同月 9 日には第 10 回在沖縄日米危機管理会議がそれぞれ開催されました。合同協議会では、米軍ヘリの墜落を想定した日米合同実動訓練の実施結果や、その反省検討結果等を協議し、日米関係機関の初動対応要領を確認するとともに、引き続き米軍と合同で図上及び実動訓練を実施すべく調整することとしました。また、日米合同で行われた危機管理会議では、米軍航空機が提供施設・区域外に墜落等した場合の日米双方の具体的な初動対応要領について理解を深め、共通認識を有することができました。



沖縄県在日米軍事故対応に関する合同協議会
(12 月 5 日、於：外務省沖縄事務所)



在沖縄日米危機管理会議
(12 月 9 日、於：外務省沖縄事務所)

第30回NAHAマラソンに出場!!

那覇市から沖縄本島南部を巡る 42.195km をコースとする「第 30 回 NAHA マラソン」が平成 26 年 12 月 7 日に開催され、当局からも多くの「ランナー」が参加しました。

午前 9 時、曇り空の那覇市を約 2 万 7 千人のランナーがスタートし、時折日差しが強まる中、当局のランナー達も、自己ベストに向けて力走する者、6 時間 15 分の制限時間内でのゴールを目指す者など、それぞれの目標に向けて全力を尽くしました。

沿道からのご声援をいただいた方々や、ボランティアの皆様にも、この場を借りて御礼申し上げます。
ありがとうございました。



那覇市奥武山陸上競技場でのゴール後に記念撮影



完走者よりひとこと

第 30 回記念そして現役日本代表ランナー川内優輝選手も出場し、大変盛り上がった大会の中、54 位、2 時間 53 分 03 秒で完走することができました。

本大会は気温も高くアップダウンのある厳しいコースですが、コース上で感じるランナーの高揚感や沿道の方々との一体感は県外の大会では体験できないものでした。来年（第 31 回大会）もより多くの沖縄防衛局ランナーズが参加し、活躍できるよう頑張ります。

（管理部返還対策課長 三沢大輔）

お知らせ

米軍基地での勤務を希望される方へ

在日米軍従業員の事前募集受付中！

応募は 24 時間いつでも受付可能なインターネットがおすすめです！

HP アドレス：<http://www.lmo.go.jp> で検索できます。

応募資格 沖縄県在住の満 18 歳以上の方

応募方法 インターネット又は窓口のいずれか 1 回の応募で有効です。

- ・インターネット：エルモの HP (<http://www.lmo.go.jp>) を開き、【求人情報】の【沖縄県における事前募集】を御覧ください。（スマートフォンはインターネット応募と同様）
- ・窓口応募：指定の応募用紙に必要事項を記入の上、お申込みください。
- ・応募用紙は下記受付窓口にて配布しています。

受付時間 インターネット：年中 24 時間受付中

窓口応募：受付時間は午前 9 時～午後 5 時 30 分（土曜・日曜、祝日及び 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日を除く。）

受付窓口・お問合せ先



独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構（エルモ）
沖縄支部 管理課

嘉手納町字屋良 1058 番地 1（道の駅「かでな」隣り）TEL：(098) 921-5532

2014嘉手納スペシャルオリンピックス大会

平成 26 年 11 月 8 日、米空軍嘉手納飛行場において、2014 嘉手納スペシャルオリンピックスが開催されました。嘉手納スペシャルオリンピックスとは、障害のある方々のスポーツイベントで、嘉手納飛行場の米空軍第 18 航空団が主催運営しており、平成 12 年に第 1 回が開催され、今大会で 15 回目を数えます。

今年も、県内 25 の特別支援学校の生徒さんや作業所で働く皆さんなど 940 名以上のアスリートが参加し、県内の米軍基地に所属する軍人・軍属や在日米軍従業員など 2,500 名を超えるボランティアスタッフが大会を支えました。また、キャロライン・ケネディ駐日米国大使も来賓として会場を訪れ、開会式でスピーチをするともに、アスリートに声援を送りました。

なお、沖縄防衛局は、沖縄県、沖縄市、嘉手納町、北谷町などならび同大会の協力団体となっており、当日は井上局長もアスリートへのメダルプレゼンターを務めました。今後とも、このような大会を通じて日米の友好の輪が広がることを切に願っております。

2014 Kadena Special Olympics



写真提供：米空軍第 18 航空団



写真提供：米空軍第 18 航空団

大会当日は多くのアスリートが汗を流しました



写真提供：米空軍第 18 航空団

ケネディ駐日米国大使も激励に訪れました



井上局長からメダルを贈呈



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。
 連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局総務部報道室
 メールアドレス：houdou@okinawa.rdb.mod.go.jp